



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社Sharing Innovations 上場取引所 東
コード番号 4178 URL <https://sharing-innovations.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 信田 人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 西田 祐 TEL 03 (6456) 2451
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,550	2.2	104	-	103	-	64	-
2023年12月期中間期	2,495	△5.0	△0	-	2	△98.9	△16	-

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 64百万円 (-%) 2023年12月期中間期 △17百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	17.14	16.28
2023年12月期中間期	△4.42	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,375	1,512	63.6
2023年12月期	2,318	1,448	62.4

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,511百万円 2023年12月期 1,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,175	2.3	280	125.5	280	121.5	140	311.6	37.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	3,793,300株	2023年12月期	3,793,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	49,700株	2023年12月期	49,700株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	3,743,600株	2023年12月期中間期	3,740,821株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調にありましたが、ウクライナ・ロシア情勢など国際情勢の緊迫化に加え、原材料・エネルギー価格の高騰などのリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であるデジタルトランスフォーメーション事業を取り巻く環境といたしましては、IT人材不足が今後ますます深刻化し、2030年には約45万人程度までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。(出所:経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」)

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業は引き続き増加傾向となっております。また企業が従来型ITからクラウドへ移行するクラウドマイグレーションは、対象システム領域の多様化が顕著となっており、WEBシステムや情報系システムから基幹システムへと対象システム領域が拡大しております。国内クラウド市場は、前年比37.8%増の5兆8,142億円(売上額ベース)となりました。また、2022年~2027年の年間平均成長率(CAGR:Compound Annual Growth Rate)は17.9%で推移し、2027年の市場規模は2022年比約2.3倍の13兆2,571億円になると予測されております。(出所:IDCJapan株式会社「国内クラウド市場予測、2023年~2027年」)

このような環境のもと、当社グループのデジタルトランスフォーメーション事業においては人材確保とIT技術の教育により、開発体制強化に努めてまいりましたが、営業や中堅エンジニアのリソースが不足しており、2022年下期より事業の構造改革に取り組んでまいりました。その後、コスト最適化と売上拡大の両軸で改革が進み、2023年下期より安定的に利益が出る体質へ復帰いたしました。当中間連結会計期間においては、クラウドインテグレーション領域にて、従来注力してきた中・小型案件で、受注ルールの適正化、案件管理の徹底による遅延の発生(追加コストの発生)の抑制等の効果により、収益性が向上いたしました。また、高難易度・大規模案件を扱うエンタープライズへの進出を開始し、当中間連結会計期間において売上を計上いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,550,581千円(前年同期比2.2%増)、営業利益104,523千円(前年同期の営業損失は282千円)、経常利益103,693千円(前年同期の経常利益は2,208千円)、親会社株主に帰属する中間純利益64,162千円(前年同期の親会社株主に帰属する中間純損失は16,547千円)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発、クラウドインテグレーション等の案件を受注しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は2,356,634千円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益(営業利益)は231,609千円(前年同期比100.3%増)となりました。

② プラットフォーム事業

プラットフォーム事業においては、「チャットで話せる占いアプリ-ウララ」を主力としたスマートフォン向けアプリの企画・開発・運営などに取り組んでおります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は210,471千円(前年同期比7.9%増)、セグメント利益(営業利益)は23,316千円(前年同期比12.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて56,790千円増加し、2,375,409千円となりました。主な要因は、現金及び預金が136,306千円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が60,375千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて7,429千円減少し、862,612千円となりました。主な要因は、短期借入金が21,336千円、未払法人税等が3,639千円増加した一方、長期借入金が17,880千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて64,219千円増加し、1,512,796千円

となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が64,162千円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ136,277千円増加し、958,721千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は134,882千円(前年同期は57,712千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益103,693千円及び売上債権の減少が60,395千円あった一方、貸倒引当金の減少21,113千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,777千円(前年同期比610千円増)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出3,377千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は3,456千円(前年同期比2,306千円増)となりました。これは主に短期借入による収入が21,336千円あった一方、長期借入金の返済による支出17,880千円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,764	959,071
受取手形、売掛金及び契約資産	657,201	596,825
仕掛品	4,028	668
その他	105,712	127,246
貸倒引当金	△21,113	-
流動資産合計	1,568,593	1,683,811
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,213	1,724
工具、器具及び備品（純額）	5,134	4,522
有形固定資産合計	8,348	6,246
無形固定資産		
のれん	672,808	619,313
その他	25,941	25,102
無形固定資産合計	698,750	644,416
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,612	3,580
その他	45,726	45,765
貸倒引当金	△8,411	△8,411
投資その他の資産合計	42,927	40,935
固定資産合計	750,026	691,598
資産合計	2,318,619	2,375,409
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,599	252,109
未払費用	143,237	139,532
短期借入金	-	21,336
1年内返済予定の長期借入金	35,760	35,760
賞与引当金	-	2,941
未払法人税等	46,415	50,055
その他	182,708	176,438
流動負債合計	667,721	678,172
固定負債		
長期借入金	202,320	184,440
固定負債合計	202,320	184,440
負債合計	870,041	862,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,525	436,525
資本剰余金	433,525	433,525
利益剰余金	680,900	745,062
自己株式	△101,444	△101,444
株主資本合計	1,449,507	1,513,669
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,206	△2,148
その他の包括利益累計額合計	△2,206	△2,148
新株予約権	1,276	1,276
純資産合計	1,448,577	1,512,796
負債純資産合計	2,318,619	2,375,409

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)
売上高	2,495,753	2,550,581
売上原価	2,031,612	2,012,684
売上総利益	464,141	537,897
販売費及び一般管理費	464,423	433,373
営業利益又は営業損失(△)	△282	104,523
営業外収益		
受取利息	15	16
為替差益	436	-
補助金収入	1,339	-
業務受託料	600	1,200
固定資産売却益	99	-
営業外収益合計	2,490	1,216
営業外費用		
支払利息	-	1,437
為替差損	-	609
営業外費用合計	-	2,047
経常利益	2,208	103,693
税金等調整前中間純利益	2,208	103,693
法人税、住民税及び事業税	19,093	37,499
法人税等調整額	△337	2,031
法人税等合計	18,756	39,531
中間純利益又は中間純損失(△)	△16,547	64,162
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	△16,547	64,162

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△16,547	64,162
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,136	57
その他の包括利益合計	△1,136	57
中間包括利益	△17,683	64,219
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△17,683	64,219

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,208	103,693
減価償却費	6,144	6,789
のれん償却額	41,820	53,494
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,867	3,069
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△21,113
受取利息	△15	△16
支払利息	-	1,437
為替差損益 (△は益)	△3,129	△3,176
売上債権の増減額 (△は増加)	△44,565	60,395
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,746	3,378
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△37,293	△21,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,282	△7,490
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,569	△3,055
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△23,839	△7,368
その他	△127	279
小計	△69,963	169,172
利息の受取額	15	16
利息の支払額	-	△1,437
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	12,235	△32,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	△57,712	134,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△313	△189
無形固定資産の取得による支出	△1,100	△3,377
貸付けによる支出	△1,500	-
貸付金の回収による収入	120	150
その他	△373	△360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,167	△3,777
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	21,336
長期借入金の返済による支出	-	△17,880
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,150	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,150	3,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	553	1,716
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△59,175	136,277
現金及び現金同等物の期首残高	752,219	822,443
現金及び現金同等物の中間期末残高	693,043	958,721

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2023年1月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランスフ ォーメーション事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド インテグレーション システム	507,026	-	507,026	-	507,026
ソリューション	1,793,716	-	1,793,716	-	1,793,716
その他	-	195,010	195,010	-	195,010
顧客との契約から 生じる収益	2,300,743	195,010	2,495,753	-	2,495,753
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,300,743	195,010	2,495,753	-	2,495,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,800	-	10,800	△10,800	-
計	2,311,543	195,010	2,506,553	△10,800	2,495,753
セグメント利益	115,649	26,487	142,137	△142,419	△282

(注) 1. セグメント利益の調整額△142,419千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2024年1月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランスフ ォーメーション事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド インテグレーション システム	514,684	-	514,684	-	514,684
ソリューション	1,825,425	-	1,825,425	-	1,825,425
その他	-	210,471	210,471	-	210,471
顧客との契約から 生じる収益	2,340,109	210,471	2,550,581	-	2,550,581
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,340,109	210,471	2,550,581	-	2,550,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,525	-	16,525	△16,525	-
計	2,356,634	210,471	2,567,106	△16,525	2,550,581
セグメント利益	231,609	23,316	254,925	△150,401	104,523

- (注) 1. セグメント利益の調整額△150,401千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。